

CDI 中国「大健康」月報

(第 17 号: 2024 年 10 月 21 日~2024 年 11 月 20 日)

中国における「大健康」産業とは、医療を中核として、健康食品・サプリメントや健康診断・生活指導から、リハビリ、高齢者向け商品・サービス、スポーツ・レジャーまで、生老病死に関わる広範な領域を対象にした概念を指す。CDI 中国「大健康」月報では、「大健康」産業における日本・中国間の交流促進に資する情報を毎月提供していく。一助となれば幸いである。

トップニュース

上海輸入博におけるメディカル・ヘルスケア企業の存在感

第 7 回中国国際輸入博覧会が上海で開催され、医療機器の革新に焦点が当てられている。各事業の 129 か国・地域から 3,496 社が参加した。特に心血管および神経系の医療機器が注目されている。イノベーション医薬品・医療機器の研究開発やバイオ医薬技術が展示され、バイエルやメトロニックなどの大手企業が最新製品を披露した。

例として、メトロニックの「PulseSelect パルス電場アブレーションシステム」やボストンサイエンティフィックの「ROTAPRO ロータープレート治療システム」(下の画像をご参照)等がある。



ロシュ製薬は、中国進出 30 周年を記念して、ロシュ・ダイアグノスティックスと共に博覧会に参加し、中国で販売中または今後販売予定の 30 以上の製品を展示した。中には、乳がん治療薬「イナリセ」、CD20/CD3 バイスペシフィック抗体薬「Lunsumio」など、中国で承認予定の革新的なグローバル製品 3 種類が含まれている。

ジョンソン・エンド・ジョンソン メディカル テクノロジーは、デジタルロボット、吻合器、エネルギーデバイスを含む外科手術ソリューションを網羅した、100 以上の革新的製品を博覧会で展示した。そのうち 26 製品は中国で初めての披露となり、外科分野における同社の革新力を示した。

値段交渉について

医薬品の集中購買動向について

「最低価格なし」の集中購買

河北省をリーダーとする血管インターベンション医療材料省際連盟が集中購買を正式に開始した。栓塞用マイクロビーズ、血流ガイドステントなど 5 種類の医療材料が対象となっている。最低選定価格や値下げ幅が設定されておらず、価格競争の不確実性が

高まっている。調達期間は 2 年間で、約定調達量は実際の需要量の 80%とされている。

医療消耗材価格をめぐる「二次交渉」を緊急停止

湖南省衛生健康委員会は通知を公表し、全省の公立病院に対し、現在行われている「二次交渉」の停止を指示した。さらに、「二次交渉」により得られた資金を返還するよう求めている。本通知は、医薬品や医療消耗材の調達における長期的な規範を確立し、公立病院での調達プロセスをより規範的かつ透明性のあるものにすることを強調している。

国家医療保険交渉(国談)動向について

2024 年の医療保険目録交渉/競争入札は、10 月 27 日から 30 日まで北京で行われる。調整結果は 11 月に発表される予定で、新しい医薬品目録は 2025 年 1 月 1 日から施行される。今回で 7 回目となる医薬品目録の調整で、162 種類の薬品が交渉/競争入札に参加する。

専門家審査段階での通過率は 50%未満で、平均値下げ率は 70%近くに達すると予測されている。恒瑞医薬のオルタコナゾールカプセルや信达生物のトライシマブ注射液など、多くの注目製品が大幅に値下げされた。

医療分野における統制・コンプライアンス強化

学術会議参加への緩和

国家衛生健康委員会は、医療従事者が規範に則った条件下で国内外の製薬企業が主催する学術会議に参加することを容認している。この政策は、医療従事者が最新の医学知識を得て専門能力を向上させる一助となり、医学交流を促進し、医療サービスの質を高めることを目的としている。

薬品流通分野の規範、発表へ

国家薬品监督管理局は、薬品流通分野における規範的管理を強調し、薬品の横流しなどの違法行為を厳しく取り締まっている。特別検査やスマート監督を通じて薬品の品質と安全性を確保し、市場秩序を維持している。薬品の横流し行為は法律規定に違反し、市場秩序を乱すだけでなく、薬品の品質安全にも危険をもたらす可能性がある。

病院管理

建設中の山東省立医院瀘州医院

山東省立医院瀘州医院は国家の第 5 陣区域医療センターの一つとして、総投資額約 16.11 億元、計画病床数 1000 床の規模で設立されている。この病院は、山東省立医院と西南医科大学附属瀘州医院の協力プロジェクトであり、四川省及び西南地域全体の医療救護レベルを向上させることを目的としている。



建設中の国際病院

シンガポールのペラリ・グループは、広州市に 50 億元を投資し、粵港澳大湾区の廣州白雲駅(左側の画像をご参照)の近く、国際大健康医療養老都市を建設する。このうち、最初の 10 億元を投入して建設されるペラリ国際病院は、国内初の外資独資病院となる見込みであり、2025 年に竣工し運用を開始する予定である。

上海市、民営病院と公立病院の連携を探る政策を発表

上海市は新たな政策を公布し、民間病院が公立病院との協力を探ることを支援するとともに、社会資本を医療資源が不足している地域への投資に誘導する方針を示している。また、連鎖化・グループ化運営を奨励し、国際医療ツーリズムのサービスモデルを革新し、医療分野への外資投資や人材の国境を越えた流動を深化させ、医療サービスを主体とする料金体系の確立を提案している。

上海市、「医療保険+商業保険」によるワンストップ無感決済システムを導入

瑞金医院や中山医院などのトップクラスの公立三甲病院が、「医療保険+商業保険」によるワンストップ無感決済システムを導入する。このシステムは、上海市医療保険局、上海市金融監督局、上海保険取引所の推進の下、正式に運用を開始したものであり、都市における「多層的医療保険体系」の時代の到来を象徴している。

北京市、DRG グループ分け案を発表

北京市医療保険局は「DRG グループ分け案(2.0 版)」を発表し、統計方法を最適化して診断内容が資源消費に与える影響をより正確に測定できるようにした。2.0 版の DRG グループ分けでは、特に 13 の学科に焦点を当て、高資源消費分組を詳細化することで、病院各学科の病群別の比重に影響を与えている。

医薬品

創薬ベンチャーの資金調達動向(2024 年 10 月)

即刻薬数データベース(セルフメディア)によると、2024 年 10 月の 1 か月間で、少なくとも 10 社の中国の革新医薬品研究開発企業が新たな資金調達ラウンドを完了したことを発表した。その中で、少なくとも 4 社が細胞治療薬の研究開発に注力し、Treg 細胞治療薬、誘導多能性幹細胞(iPSC)薬、臨床グレードの iPS 由来細胞薬などが含まれている。その他、資本市場で注目を集めている新興企業は、体内遺伝子編集療法、小核酸薬、抗体薬、小分子薬などの種類の薬の開発にも取り組んでいる。

創薬の動向

近年、中国製の二重抗体新薬が国際市場で注目を集めている。康方生物などの企業は、世界初の PD-1/CTLA-4 二重抗体と PD-1/VEGF 二重抗体を成功裏に発売し、中国製新薬の国際展開を加速させた。同時に、国際的な製薬企業も二重抗体分野に進

出を図り、中国バイオ医薬品業界の革新能力と市場価値が明らかになっている。

ノバルティスの PIT565 注射液は、CD3/CD2/CD19 をターゲットにした三重抗体薬であり、中国での IND 申請が受理された。この薬剤は「同類初」の作用メカニズムを有する可能性があり、複数の適応症に向けて開発が進められている。



流通業者の動向

老百姓大薬房が江蘇省揚州に建設した地域物流センターは、AS/RS システム(左の画像をご参照)や AGV などの先進的な物流技術を採用し、スマート化レベルを向上させた。この施設は華東地域の医薬品サービス資源と人的資源の統合を支える役割を果たしている。

華潤三九は、安徽省の集中購買により、感冒靈などの OTC ブランドが含まれたことで、市場価値が 100 億元以上減少した。市場では、主要製品の値下げ幅が大きく、利益に影響を与えることが懸念されている。また、天士力の買収後、企業の成長にはさらなる不確実性が生じている。

百済神州の社名変更

百済神州は英文社名を BeiGene(左下の画像をご参照)から BeOne Medicines(右下の画像をご参照)に変更する計画を発表した。この変更は、グローバルがん領域における連携と責任を反映するためであり、新しいロゴは、がんとの闘いにおける使命と腫瘍学への専念を強調している。



医療機器

大塚ホールディングス、Microport の株式売却を検討中

報道によると、日本の大塚ホールディングスは、中国の医療機器メーカーである微創医療(Microport)社の株式売却を検討中。微創医療は心血管や整形外科などの分野で製品を展開しており、大塚ホールディングスは 20.87%の株式を保有する最大株主。この動きは微創医療の株式構造と経営に影響を及ぼす可能性がある。

GE、無錫で高級医療機器エコシステムプロジェクトを建設開始

米国の GE ヘルスケア(GE 医療)は無錫ハイテク地区(下の画像をご参照)との協力協定に署名し、GE 超音波中華圏本部および高級医療機器エコシステムプロジェクトが無錫に正式に定着。これにより、GE 医療の中国市場における発展と中国医療産業への革新貢献がさらに強化される。



医療機器世界 TOP100 企業

医療機器業界サイト「Medical Design & Outsourcing」が 2024 年の世界医療機器企業トップ 100 リストを発表。メドトロニック、ジョンソン・エンド・ジョンソン、シーメンスヘルスケアが収益ランキングでトップ 3 を維持。中国企業ではマインドレイが第 27 位にランクインし、中国で最上位の企業となった。

分岐点に当たるスミス・アンド・ネフュー社

スミス・アンド・ネフュー (Smith & Nephew) は、150 年の歴史を持つ国際的医療企業で、現在解体の危機に直面。転換計画が投資家の期待に応えられず、株主は CEO に対し業績改善を要求。今年に入ってから同社の株価は約 14% 下落し、過去 5 年間で 44% も暴落。主要部門の一つである整形外科部門は分割の可能性がある。同社は世界の整形外科市場で 5 位に位置するものの、成長が鈍化しており、新たな成長ポイントを模索している。

AI

美的グループが投資した整形外科ロボット会社、登録抹消へ

北京和華瑞博科技股份有限公司が全額出資子会社である上海和華科泰医療科技有
限会社の廃止を予定。この子会社は主に整形外科ロボットの研究開発と販売を行うが、
実際の事業活動はなし。和華瑞博は 2018 年の設立以来 6 回の資金調達を完了し、
美的投資が 2.68% を保有。しかし、業績は継続的に赤字であり、2024 年上半期の売
上収益は大幅に減少し、純損失は 4185.78 万元に達した。

上海薬業雲健康とメイシン健康は、合併へ

上海薬業雲健康とメイシン健康が最近、合併に関する協議を進めており、共同で上場
を目指す可能性を模索。上薬雲健康は 200 以上の DTP 専門薬局を有し、一方、メイ
シン健康は「インターネット+医療+薬局+保険」モデルで運営しており、評価額は百億元
規模に達している。合併後の企業は、より大きな商業的魅力を持つ見込み。

健康食品・サプリメント

4 種類の輸入健康食品、承認取得へ

瑞旭集団が 2024 年 10 月 21 日に発表した情報によると、国家市場監督管理総局食
品審査評価センターは、オーストラリア、日本、イスラエルからの輸入保健食品 4 製品
を新たに登録。これには、グリーンフーズ亜鉛ビタミン C 錠、グリーンフーズマグネシウ

ム錠、ファンケル健康科学マルチビタミンミネラル錠、アモルフィカルカルシウム錠が含まれる。

承認取得のメディカル・フードは 210 種類を超えた

中国で承認された特殊医療用途食品は 213 製品に増加。これには、SHS INTERNATIONAL LTD のニューカム特殊医療用途乳児用アミノ酸配合粉など 7 製品が含まれ、さまざまな対象者と製品タイプに対応している。

機能的食品市場の規模拡大

機能的食品市場の規模が拡大を続け、2023 年の中国の市場規模は 3523 億元に達した。市場の成長は、高齢化社会の進行、若年層の健康的なライフスタイル追求、科学技術の進歩によるものである。

養老産業（シルバー産業や介護）

熱画像転倒検知製品、資金調達を完成

スマート健康 AI ハードウェア企業「ThingX 物啓科技」が資金調達に成功し、熱画像転倒検知製品「Collie R1」を発表。高齢者の安全保障を向上。Cube iWork は高齢者向けタブレットを発売し、複数の適応機能を搭載。レナヴァンは南京銀杏樹老人ホームと提携し、老人ホーム情報化分野に進出。

華為（ファーウェイ）系のシルバー産業システム、発表へ

深セン開鴻デジタル産業発展有限公司が「幸福開鴻」スマート養老エコシステムを発表。これは、華為（ファーウェイ）のオリジナル OS である HarmonyOS が養老分野に初めて応用されたもので、異なるスマートデバイスをシームレスに接続し、高齢者の生理データをリアルタイムで監視できる。

国、介護料金プロジェクトを規範化するガイドラインを発行

国家医療保険局が介護関連プロジェクトのガイドラインを発表し、介護料金政策の最適化と調整に関する通知を発表。各省が介護料金プロジェクトを規範化するための統一の指導を行い、新たに「付き添い不要ケアサービス」の料金プロジェクトを設置。多様な介護サービス需要に対応。

二級病院以上の医療機構は、老年医学科を設置することが期待される

特定の条件を満たした二級以上の総合病院は、「老年医学科建設および管理ガイドライン」の関連要件に基づき、老年医学科を適切に設置し、病床、設備、人員などの面で建設を強化する必要がある。また、外来診療室、病棟、総合評価室を適切に設置し、老年医学科の基本的な設備と施設を完備するよう求められている。

国家衛生健康委員会が以前発表した文書によると、全国の条件を満たすすべての二級以上の総合病院で老年医学科を設置することが求められている。老年者の健康需要を指針とし、高齢者専門病院、リハビリ病院、介護施設、緩和ケア施設などの継続ケア機関の建設を強化することが期待されている。老年医学科の大量建設が進む中、認知症の検査にも新たな機会が訪れると期待されている。

以上

日本語校閲：深谷 俊介 (CDI 日本)

お問い合わせ先:

■ 嚴 偉 (CDI 上海オフィス)

□ Email: yan@cdi-china.com Mobile: +86-183-2198-1922

■ 崔 浩 (CDI 上海オフィス)

□ Email: hao.cui@cdi-china.com Mobile: +86-188-1736-2183

コーポレートディレクション 上海オフィス

コーポレートディレクション(CDI)は、1986年に米系コンサルティングファームBCGから10名が独立して設立した、日本初の独立系戦略コンサルティングファーム。2008年上海オフィス設立を皮切りに、現在ではアジア5箇所に現地拠点を有する。

上海オフィスでは、主に日本企業の中国参入戦略立案、戦略再構築、及び実行に伴う組織業務改革、中国企業との提携支援等を提供。一方で、中国企業をクライアントとした日系企業との提携支援も行っている。